

第 35 回通常理事会・第 6 回定時評議員会 議決

平成 29 年度 事業報告書

事業年度 自 平成 29 年 4 月 01 日
至 平成 30 年 3 月 31 日

公益財団法人 河野臨牀医学研究所

東京都品川区北品川 1 丁目 28 番 15 号

平成29年度事業報告

(はじめに)

平成29年度は、平成30年度の事業拡大を見据え、円滑適正に運営できる体制を築くこと、品川リハビリテーションパーク施設の整備を計画通り進めることに努め、成果を挙げた。品川リハビリテーションパーク及び品川区立大崎図書館は、計画通り、平成30年3月30日に竣工した。

各附属施設においても、良質で安全な医療の提供、業務の効率化、老朽施設の整備、患者様や職員の環境の整備を計画的に進めた。特に急性期病院においては難易度の高いオペ等に取り組み、オペ件数を増やし、目標以上の医業収益を挙げた。

平成29年6月28日に内閣府による初めての立入検査を受け、細かな指導事項はあったものの、特段の指摘事項はなかった。

(事業活動)

1 難病その他治療困難な疾患の医学的研究事業(公1)

(1) 基礎医学研究

胆道閉鎖症の肝再生を目指し、細胞培養法を中心とする細胞生物学的研究において、胆道閉鎖症の肝組織から、正常肝臓ではほとんど認めない小型の肝細胞(成熟肝細胞の前駆細胞)の出現を認めた、同細胞の同定を試みた。加えて、同細胞の出現機構の解明の一環として、培養上清を分析した結果、肝細胞増殖因子として知られるHGFを検出した。これより、小型の肝細胞の出現にはHGFの出現が大きく関与している可能性が示唆された(論文、①In Vitro Cell Dev Biol 2017、②Int J Stem Cell & Res 2017)。学会発表としては、平成29年6月開催の日本細胞生物学会に2題発表した。以上の結果を踏まえて新たに3件の新規の再生医学研究課題に取り組んだ。

黄色ブドウ球菌性表皮剥脱毒素のガングリオシドによる不活化とSPR法並びにシリカゲル薄層クロマトによる各種ガングリオシドと表皮剥脱素の結合解析の研究成果を英語論文に取り纏めた。

指導面としては、引き続き米国の再生医学関連学術雑誌のエディターとして、また、日本組織培養学会の研修講師として、再生医学の発展に貢献した。

更に、当財団内の臨床医学研究者育成を図るため、臨床分野の医学研究会を4月に開催し、発表方法及び研究の進め方のアドバイス並びに研究ガイドライン及び倫理面についての指導を行った。

(2) 臨床医学研究

安全・安心で質の高い医療を提供すべく、病院と研究所の緊密な連携のもと、医療現場の課題を研究にフィードバックし、かつ患者のQOL向上、家族等環境要因にも配慮した臨床研究を進め、研究成果は、学術誌への論文発表や関連学会の学術集会等における発表を8件行った。

オペ症例総括・検討やQOL向上研究等については、第57回河医研医学会総会（研究発表会）及び紀要で発表した。

リハビリテーション効果や漢方効果観察、2型糖尿病合併症予防薬介入研究については、大学等との連携に参画し臨床研究を進めた。

臨床医学研究の質向上と臨床医学研究者のリサーチマインド育成のための医学研究会は、平成29年4月28日に実施した。

引き続き、新薬の有効性及び安全性を確認するための治験に積極的に協力し、従前からの治験8件に加え、新規に骨粗鬆症患者を対象の治験及び糖尿病患対象の合併症予防薬介入研究に参画し、取り組んだ。

(3) 予防医学研究

予防医学センターでは、メンタルヘルス不調等に対して組織における内的・外的要因による環境の変化と発症の因果関係等についてストレスチェックを基礎にした「組織診断」を実施し、健診データ等結合させ、より早期に疾患を発見し、より有効な対策を講じられるよう方法論確立のための研究を進めた。

また研究成果を啓蒙活動、産業医活動等で還元した。様々な雑誌等でも脳機能の研究等を基にした予防策などが本年度も多く取り上げられた。

引き続き、PHR構想（健康・医療・介護情報を個人が効率的に収集・活用できる仕組構築）を実現できる真の予防医学研究センターになるよう計画的に事業を進めている。

(4) 研究成果の普及・啓発

紀要（年報 Vol.67、英文機関誌 Vol.33）については、現在2017年版として発表できるよう準備中である。

上記の通り学会等での発表、論文発表（英文）を増やし研究成果の普及に努めた。専門外来等については、患者に対し疾患・検査等の情報及び予防等に活かしていただくため外来インフォメーションを作成し提供した。

平成29年9月22日第7回品川・荏原整形外科医会での講演など8回の講演や学会開催の市民公開講座等での講義を行った。平成29年12月16日しながらアフェス2017年を後援し、協力した。その他地域行事に看護師等が参画して、健康相談等臨床研究の成果を活用した活動を行った。

(5) 教育・研修

第57回河医研医学会総会（研究発表会）を平成29年2月22日に開催、ポスターセッションと口述発表を併用、24題の発表があり、活発な議論がなされた（内外から約180名が参加）。

品川区リハビリテーション・ネットワーク（品の輪）を3回開催（27施設延べ150名参加）し、症例検討、グループ討議、講演会を実施した。

品川区とNPO品川ケア協議会との協働事業による介護職員実習等の研修に協力した。その他臨床医学勉強会等で1回講義を行った。

国内の研究活動に資するため日本培養学会細胞指導士の指導に、引き続き協力した。

救命救急士再教育実習（5名）、その他リハビリテーション臨床実生訓練（6校18名）、介護職研修等を実施した。

2 附属施設の運営

(1) 附属第三北品川病院

診療体制は、昨年招聘した院長を中心に整形外科6人と体制を強化した。加えてO-armナビゲーションシステム等の高度医療機器、脊椎専用手術代を整備し、脊椎脊髄等難易度の高い診療・治療を積極的に行った。

外科では昭和大学消化器・一般外科からの派遣が2名から1名になったが、新部長を中心に、軟性内視鏡の整備による、内視鏡診療を活発に実施した。

脳神経外科では最新の手術用顕微鏡を整備、開頭用ドリル購入など行った。昭和大学から派遣の部長により、積極的に救急隊訪問など行うとともに、脳卒中疾患に対する診療の強化を進めた。

其の他糖尿病外来、側弯症特診、リウマチ特診、骨粗鬆症特診、肩・肘・膝特診など専門外来を高め、地域の医療の確保と質の向上に努めた。

地域のニーズに応じて、近隣の医療機関が救急受入に注力するなか、手薄の夜間・休日における救急の強化に取り組み、年間約3千台受け入れた。

総合カンファレンスの実施等、安全で安心な医療の提供、医師・看護・看護補助者等の質の向上に努めた。地域連携室活動強化、大規模災害時の地域防災への協力等地域連携を強化した。

病院規模に見合った医業収益を確保すべく、業務の効率化、合理化等に取り組み委託・仕入業者との交渉に努め、管理費や医療原価低減を進めた。

大きく改善した収益で、電動ベッドへの切り替え、院内施設の修繕・整備など、患者様や職員の環境の整備、医療器機の高高度化等を段階的に進め、患者様等への還元、人材確保・育成に努めている。

(2) 附属品川リハビリテーション病院及び介護老人保健施設新設準備

東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学研究室と連携し回復期脳卒中患者の rTMS 治療、慢性期脳卒中患者の拘縮に対するボトックス治療及び共同研究を進めている。平成 29 年 4 月にリハビリテーション専門医派遣いただき 1 名増員となった。平成 30 年の増床のため、教育・指導歴のあるリハビリテーション職員を補充し、人材育成に努めた。リハビリテーションの休日等の実施、訪問実施を増やした。

昭和大学病院の協力病院として脳卒中連携の推進強化、第三北品川病院との大腿骨頸部骨折等のパスを進めた。また NTT 東日本関東病院脳卒中センターとも新たに提携し、地域脳卒中連携システムの構築に参画した。

老朽化対策と地域保健医療の確保と質の向上、病床区分の変更による効率的な病院運営、シームレスなリハビリテーション、地域包括ケア構築への協力、人材育成や地域防災対策等に取り組むため、品川区有地に病院の移転と病院と同じ建物に介護老人保健施設（品川区立図書館も同建物内に設置）を新たに設ける品川リハビリテーションパーク計画を策定し、東京都の各種施設整備補助事業について申請し、交付決定等を受け事業を進め、平成 30 年 3 月 30 日に計画通り竣工した。

現在平成 30 年 6 月 1 日開設を目標に、開設準備を進めている。

(3) 附属北品川クリニック（予防医学センター）

業務を効率化し、少人数スタッフで迅速、効率的で質の高い健診業務が行える仕組みを構築し、実践した。また、外資系企業及び外国人を雇用する企業のニーズに対応し、問診票及び結果報告書の英文化を完了した。

平成 30 年 1 月に日本ドック学会機能評価を受審した。健診の質の向上に取り組むとともに、業務の効率化と受診者サービスの改善を図るため施設内の整備を進めた。

地域の健康レベルの改善にも積極的に取り組んでおり、品川区第二期データヘルス計画における、受診率向上等を目指す八潮地区対象の集団健診モデル事業などに協力し実施することとした。

(4) その他運営に関すること

地域の防災対策整備や地域包括ケア体制構築に引き続き積極的に協力した。

各施設では、環境等の点検を行い、整理整頓、無駄の削減、スペースの有効活用について検討し計画的に改善を進め、防犯・防災、非常時訓練等を行った。

更に、地域の防災訓練等に積極的に取り組んだ。

(管理部門)

1 理事会・評議員会の開催

平成29年4月26日

・第22回臨時理事会

開催場所：附属第三北品川病院 会議室

決議事項：リハビリテーション課の時間外勤務の件
顧問の選任の件

報告事項：平成28年度損益見込、(仮称)品川リハビリテーションパーク
及び品川区立図書館新築工事進捗状況、内閣府立入検査予定、川
村評議員から任期到来時に退任の申出

出席等：決議に必要な出席理事の数4名、出席7名、監事出席2名

平成29年5月24日

・第23回通常理事会

開催場所：附属第三北品川病院 会議室

決議事項：筋電計等購入の件

平成28年度事業報告の承認の件

平成28年度計算書類及び附属明細書並びに財産目録承認の件

定時評議員会に推薦する理事候補者名簿の件(承認事項)

定時評議員会に推薦する監事候補者名簿の件(承認事項)

定時評議員会に推薦する評議員候補者名簿の件(承認事項)

定時評議員会の議案(目的である事項)追加の件

平成29年6月14日の理事会開催を理事会招集手続き省略の
方法で行う件、定款一部変更の件

報告事項：(仮称)品川リハビリテーションパーク及び品川区立図書館工事
進捗状況

出席等：決議に必要な出席理事の数4名、出席7名、監事出席2名

平成29年6月14日

・第5回定時評議員会

開催場所：附属北品川クリニック 研修室

決議事項：議事録署名人の選出の件

平成28年度事業報告の承認の件

平成28年度計算書類及び附属明細書並びに財産目録承認の件

定款の一部変更の件

理事7名選任（任期満了に伴う改選）の件

監事2名選任（任期満了に伴う改選）の件

評議員8名選任（任期満了に伴う改選）の件

報告事項：各執行理事からの執行状況報告、品川リハビリテーションパーク整備事業計画報告、平成29年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資見込み

出席等：決議に必要な出席評議員の数5名、出席8名、欠席1名
監事出席2名、理事出席7名

平成29年6月14日

・第24回臨時理事会

開催場所：附属北品川クリニック 研修室

決議事項：代表理事及び業務執行理事の選定の件
理事長及び常務理事の選定の件
平成29年度役員報酬の件

報告事項：第5回評議員会の決議内容について

出席等：決議に必要な出席理事の数4名、出席7名、監事出席2名

平成29年7月26日

・第25回通常理事会

開催場所：附属第三北品川病院 会議室

決議事項：ベッドの購入の件
患者食事委託先の変更の件
会計指導契約を締結する件

報告事項：内閣府立入検査（面接）報告、（仮称）品川リハビリテーションパーク及び品川区立図書館工事の進捗状況

出席等：決議に必要な出席理事の数4名、出席6名、欠席1名、監事出席2名

平成29年8月23日

・第26回通常理事会

開催場所：附属第三北品川病院 会議室

決議事項：画像システムの更新の件
当座貸越枠の設定の件

報告事項：会計指導契約締結、東京地裁に給食業務委託契約上の地位保全
申し立て、(仮称)品川リハビリテーションパーク及び品川区立図書館
工事の進捗状況及び職員応募・採用状況

出席等：決議に必要な出席理事の数4名、出席7名、監事出席2名

平成29年9月27日

・第27回通常理事会

開催場所：附属北品川クリニック 研修室

決議事項：麻酔器代替の件

品川リハビリテーションパーク職員採用状況と職員紹介制度について

品川リハビリテーション病院跡地売却に専属選任媒介契約の件

報告事項：内閣府立入検査事後報告、(仮称)品川リハビリテーションパーク
及び品川区立図書館工事進捗状況、給食業者の中途解約に関する
仮処分について

出席等：決議に必要な出席理事の数4名、出席7名、監事出席2名

平成29年10月25日

・第28回通常理事会

開催場所：附属第三北品川病院 会議室

決議事項：人事コンサルティング活用、人事制度構築のご提案(日本経営)

報告事項：(仮称)品川リハビリテーションパーク及び品川区立図書館工事
進捗状況ほか

出席等：決議に必要な出席理事の数4名、出席6名、欠席1名、監事出席
2名

平成29年11月29日

・第29回通常理事会

開催場所：附属第三北品川病院 会議室

決議事項：品川リハビリテーション病院回復期リハビリテーション病棟設
備入札実施要項の件

品川リハビリテーション病院跡地売却の件

出退勤打刻システムの更新の件

報告事項：(仮称)品川リハビリテーションパーク及び品川区立図書館工事
進捗状況、品川ケアフェスほか

出席等：決議に必要な出席理事の数4名、出席7名、監事出席2名

平成29年12月25日

・第30回通常理事会

開催場所：附属第三北品川病院 会議室

決議事項：人事制度構築コンサルティング契約締結の件
公益目的事業の増進策の件
介護老人保健施設の名称案の件

報告事項：品川リハビリテーション病院回復期リハビリテーション病棟設
備入札結果、品川リハビリテーション病院不動産売買手続き結果、
(仮称)品川リハビリテーションパーク及び品川区立図書館工事進
捗状況、品川リハビリテーションパーク追加工事の検討状況

出席等：決議に必要な出席理事の数4名、出席7名、監事出席2名

平成30年1月24日

・第31回通常理事会

開催場所：附属第三北品川病院 会議室

決議事項：処遇改善加算手当規程の制定の件
品川リハビリテーションパーク追加工事・設備の件

報告事項：医療事故調査委員会報告書、人事制度構築コンサルティング契
約締結、介護老人保健施設及び訪問看護ステーションの名称、(仮称)
品川リハビリテーションパーク及び品川区立図書館工事進捗状況

出席等：決議に必要な出席理事の数4名、出席7名、監事出席2名

平成30年2月28日

・第32回通常理事会

開催場所：附属第三北品川病院 会議室

決議事項：就業規則の一部改定案、パートタイム労働者就業規則の一部改
定案、育児・介護休業等に関する規則の一部改定案の件
渉外費規程の制定の件

報告事項：内閣府に対する変更申請事前相談結果、第三北品川病院院長、
(仮称)品川リハビリテーションパーク及び品川区立図書館工事
進捗状況

出席等：決議に必要な出席理事の数4名、出席7名、監事出席2名

平成30年3月19日

・第33回通常理事会

開催場所：附属第三北品川病院 会議室

決議事項：平成30年度事業計画書及び収支予算書等の承認の件

内閣府に対する変更認定申請の件

重要な使用人の選任の件

定時評議員会の日時及び場所の件

退任する加藤院長を名誉院長にする件

報告事項：(仮称)品川リハビリテーションパーク及び品川区立図書館工事
進捗状況、平成29年度収支見込ほか

出席等：決議に必要な出席理事の数4名、出席6名、監事出席2名

2 各種届出に関する事項

(1) 平成28年度事業報告等提出

平成29年6月28日付で平成28年度の事業報告等に関する書類を、内閣府に対し電子申請の方法で提出した。

(2) 評議員の異動及び定款の一部変更の届出

平成29年6月14日付で川村将弘評議員が任期満了により退任したので、その登記を行い、平成29年7月3日付で内閣府に対し電子申請の方法で変更届出した。

平成29年6月14日評議員会において定款の一部変更を承認可決したので、平成29年7月3日付で内閣府に対し電子申請の方法で変更届出した。

なお、定款の変更については、事業について目的との整合性を図るため福祉増進を行うことを追加。迅速かつ適正に判断して財団運営を行うため理事会を原則として毎月開催に変更。基本財産の預け先の金融機関名称変更等が見込まれることから銀行名を削除した。以上3点の変更であった。

(3) 平成30年度事業計画書・収支予算書等の提出

平成30年3月28日付で平成30年度の事業計画書及び収支予算書並びに附属書類を、内閣府に対し電子申請の方法で提出した。

3 公益財団法人の運営等に関する情報公開

過去5年間の貸借対照表を電子公告し、公益法人移行後の事業計画等及び事業報告等をWebサイトで公開している。その他の情報公開としては、定款、役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程等をホームページに掲載している。

4 内部管理体制の整備

理事会は理事7名（うち2名が外部理事2名）で構成されており、経営上の重要事項について意思決定を行うとともに、理事の業務施行を監督している。理事会は原則毎月1回開催して、現場に密着したスピード感ある経営及び外部理事の経営・監督機能が十分果たせるように体制を構築しています。

理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するため、各施設の幹部及び外部理事が加わった経営執行会議を原則毎月理事会と同日に開催して、理事会付議事項の事前検討、施設間関連業務の調整、各施設における事業進捗管理、理事会決定事項の共有などを行っている。

平成29年8月1日、より一層適正な財産使用や会計処理を行い、健全な財団運営を行うため、監査法人と会計指導契約を締結、更に平成30年度には会計監査人を設置する予定である。

5 庶務事項

品川リハビリテーションパーク及び品川区立大崎図書館新築工事については、計画通り平成30年3月30日竣工し、同日引き渡しが完了した。平成30年6月1日開設の予定である。

工事支出のため積み立てた、特定資産取得資金40百万円は目的通り取り崩した。資金調達は、竣工後の補助金交付及び独立行政法人福祉医療公庫借入のつなぎ借入及び上記工事の協調融資（期間20年）として、金融機関3行からのシンジケートローンを利用した。補助金、福祉医療公庫からの期間30年の固定金利での借入等は計画通り交付・実行が決定している。

耐震化等で移転する品川リハビリテーション病院跡地は、健全な財団運営を図るため売却することとし、平成29年12月20日売買契約を締結、病院移転後残金受領の予定である。

開設後速やかに内閣府に変更届出を行う。

新施設開設等から、職員を100名以上増員する計画から採用、教育等に外部紹介コンサルティングなど活用して進めた。さらに平成平成30年1月15日人事コンサルティング会社と契約して、人事制度の再構築に取り組んでいる。

なお平成29年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、附属明細書を作成していない。

貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	626,542,695	608,672,292	17,870,403
未収金	521,131,372	506,308,117	14,823,255
前払費用	8,486,179	6,314,825	2,171,354
立替金	395,070,540	0	395,070,540
貯蔵品	12,192,020	22,856,607	△ 10,664,587
貸倒引当金	△ 3,235,840	0	△ 3,235,840
流動資産合計	1,560,186,966	1,144,151,841	416,035,125
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
建物建設積立資産	0	40,000,000	△ 40,000,000
建物	4,328,833,455	36,189,267	4,292,644,188
車輛運搬具	15,329,543	8,225,000	7,104,543
什器備品	18,357,721	19,710,008	△ 1,352,287
特定資産合計	4,362,520,719	104,124,275	4,258,396,444
(3) その他固定資産			
建物	622,077,769	691,540,706	△ 69,462,937
構築物	66,266,777	12,491,841	53,774,936
車輛運搬具	461,535	12,360,393	△ 11,898,858
什器備品	456,095,533	224,507,762	231,587,771
土地	354,495,947	354,495,947	0
建設仮勘定	12,363,840	1,716,456,924	△ 1,704,093,084
ソフトウェア	109,738,720	141,268,705	△ 31,529,985
敷金	31,988,964	30,452,964	1,536,000
出資金	510,100	510,100	0
長期未収金	18,596,108	17,571,293	1,024,815
長期前払費用	4,915,633	0	4,915,633
貸倒引当金	△ 18,596,108	△ 17,571,293	△ 1,024,815
その他固定資産合計	1,658,914,818	3,184,085,342	△ 1,525,170,524
固定資産合計	6,031,435,537	3,298,209,617	2,733,225,920
資産合計	7,591,622,503	4,442,361,458	3,149,261,045

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	90,101,591	114,121,039	△ 24,019,448
未払金	352,129,363	233,096,628	119,032,735
未払費用	11,966,402	43,498,973	△ 31,532,571
未払消費税等	0	7,292,200	△ 7,292,200
前受金	21,500,000	0	21,500,000
預り金	32,100,779	31,226,813	873,966
短期借入金	300,000,000	0	300,000,000
1年内返済長期借入金	487,699,000	499,416,000	△ 11,717,000
賞与引当金	65,600,000	79,350,000	△ 13,750,000
流動負債合計	1,361,097,135	1,008,001,653	353,095,482
2. 固定負債			
長期未払金	275,221,119	216,635,334	58,585,785
長期預り金	0	1,200,000	△ 1,200,000
長期借入金	5,063,374,000	2,562,342,000	2,501,032,000
退職給付引当金	304,858,000	283,458,000	21,400,000
資産除去債務	181,150,584	0	181,150,584
固定負債合計	5,824,603,703	3,063,635,334	2,702,382,584
負債合計	7,185,700,838	4,071,636,987	3,055,478,066
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	85,085,267	38,649,267	46,436,000
民間補助金	6,125,000	8,225,000	△ 2,100,000
寄付金	8,000,012	17,250,008	△ 9,249,996
指定正味財産合計	99,210,279	64,124,275	35,086,004
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(99,210,279)	(64,124,275)	(35,086,004)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	306,711,386	306,600,196	111,190
(うち特定資産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(4,263,310,440)	(40,000,000)	(4,223,310,440)
正味財産合計	405,921,665	370,724,471	35,197,194
負債及び正味財産合計	7,591,622,503	4,442,361,458	3,090,675,260

正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	740	5,210	△ 4,470
特定資産運用益			
特定資産受取利息	4,001	10,000	△ 5,999
事業収益			
医業事業収益	3,068,268,179	2,980,481,336	87,786,843
保健予防事業収益	459,479,887	458,924,450	555,437
受取補助金等			
受取国庫助成金	0	399,000	△ 399,000
受取地方公共団体助成金	100,000	0	100,000
受取補助金等振替額	10,074,000	14,116,500	△ 4,042,500
受取寄付金			
受取寄付金	415,000	800,000	△ 385,000
受取寄付金振替額	9,249,996	9,249,996	0
雑収益			
雑収益	36,306,121	23,986,333	12,319,788
経常収益計	3,583,897,924	3,487,972,825	95,925,099
(2) 経常費用			
事業費	3,570,579,576	3,452,859,569	117,720,007
役員報酬	17,496,000	17,496,000	0
給与手当	1,797,517,451	1,780,108,785	17,408,666
臨時雇賃金	269,772,854	248,186,206	21,586,648
退職給付費用	60,976,207	60,868,906	107,301
賞与引当金繰入額	65,600,000	69,000,000	△ 3,400,000
福利厚生費	13,284,027	13,467,073	△ 183,046
旅費交通費	3,242,676	2,605,305	637,371
通信運搬費	13,597,320	15,476,622	△ 1,879,302
減価償却費	214,538,499	197,052,118	17,486,381
消耗品什器備品費	825,362	3,341,434	△ 2,516,072
材料費	412,667,112	355,966,380	56,700,732
消耗品費	49,543,121	39,650,847	9,892,274
職員被服費	8,637,792	17,210,473	△ 8,572,681
修繕費	77,508,099	78,373,625	△ 865,526
印刷製本費	1,554,757	3,205,662	△ 1,650,905
燃料費	824,393	701,945	122,448
光熱水料費	62,894,480	60,975,060	1,919,420
賃借料	70,977,157	66,910,628	4,066,529
保険料	5,657,148	8,742,966	△ 3,085,818
諸謝金	9,024,904	3,727,304	5,297,600

租税公課	70,555,077	851,405	69,703,672
委託費	227,226,220	253,504,039	△ 26,277,819
研究研修費	7,752,915	6,898,465	854,450
支払利息	21,214,338	25,737,552	△ 4,523,214
支払手数料	67,798,077	27,589,235	40,208,842
控除対象額消費税等	-	75,303,447	△ 75,303,447
貸倒引当金繰入額	7,021,605	5,198,882	1,822,723
雑費	12,871,985	14,709,205	△ 1,837,220
管 理 費	13,207,158	10,292,616	2,914,542
役員報酬	4,408,604	4,141,316	267,288
給与手当	6,404,348	5,189,070	1,215,278
退職給付費用	306,413	305,874	539
旅費交通費	334,068	278,390	55,678
通信運搬費	44,743	34,271	10,472
減価償却費	133,000	133,789	△ 789
消耗品費	113,600	48,082	65,518
諸謝金	21,800	87,557	△ 65,757
租税公課	960	2,600	△ 1,640
渉外費	1,372,955	0	1,372,955
雑費	66,667	71,667	△ 5,000
経常費用計	3,583,786,734	3,463,152,185	120,634,549
当期経常増減額	111,190	24,820,640	△ 24,709,450
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
当期経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	334,195	△ 334,195
当期経常外費用計	0	334,195	△ 334,195
当期経常外増減額	0	△ 334,195	334,195
当期一般正味財産増減額	111,190	24,486,445	△ 24,375,255
一般正味財産期首残高	306,600,196	282,113,751	24,486,445
一般正味財産期末残高	306,711,386	306,600,196	111,190
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	54,410,000	0	54,410,000
一般正味財産への振替額	△ 19,323,996	△ 23,366,496	4,042,500
当期指定正味財産増減額	35,086,004	△ 23,366,496	58,452,500
指定正味財産期首残高	64,124,275	87,490,771	△ 23,366,496
指定正味財産期末残高	99,210,279	64,124,275	35,086,004
III 正味財産期末残高	405,921,665	370,724,471	35,197,194

財産目録

平成30年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)				
現金預金	手元保管現金	公益目的事業の運転資金として	2,786,305	
	当座預金(商工中金 他)	公益目的事業の運転資金として	329,907,585	
	普通預金(商工中金 他)	公益目的事業の運転資金として	292,989,813	
	郵便振替(ゆうちょ銀行)	公益目的事業の運転資金として	858,992	
	未収金	医業未収金 他	公益目的事業実施に伴う健診・治療事業等の短期債権	521,131,372
	前払費用	前払賃借料 他	公益目的事業実施に伴う短期債権	8,486,179
立替金	品川区に対する図書館建築代金 他	公益目的事業実施に伴う立替金	395,070,540	
貯蔵品	医薬品	公益目的事業の在庫	12,192,020	
貸倒引当金	未収金に対するもの	公益目的事業実施に伴う短期債権の貸し倒れに備えたもの	△ 3,235,840	
流動資産 合計			1,560,186,966	
(固定資産)				
基本財産	定期預金	商工中金大森支店	管理業務のために保有する財産であり、運用益を管理業務の財源として使用している。	10,000,000
特定資産	建物	7,942.58㎡ 品川リハビリテーションパーク 鉄骨鉄筋コンクリート陸屋根地下1階地上8階建 東京都品川区北品川5丁目431番地26の1	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	2,838,487,952
		建物附属設備	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	1,490,345,503
	車両運搬具	検診車	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	15,329,543
	什器備品	医療用機械備品	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	18,357,721
その他固定資産	建物	1,574.56㎡ 附属北品川クリニック、財団事務局 鉄骨鉄筋コンクリート陸屋根地下1階地上7階建 東京都品川区北品川1丁目66番地3	公益目的保有財産 97% 管理運営に供する財産 3%	12,977,463 401,365
		5,112.62㎡ 附属第三北品川病院 鉄骨鉄筋コンクリート・鉄筋コンクリート造 陸屋根地下2階 地上5階建 他 東京都品川区北品川3丁目194番地の1 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	390,089,727
		3,113.56㎡ 附属品川リハビリテーション病院 鉄骨鉄筋コンクリート・鉄骨 陸屋根地下1階 地上11階建 東京都品川区北品川1丁目37番地の1	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	213,215
		446.06㎡ 研究所 鉄筋コンクリート 陸屋根地下1階 地上3階建 東京都品川区北品川3丁目195番地29	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	14,541,166
		建物附属設備	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	203,854,833
	構築物	浄化槽 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	66,266,777
	車両運搬具	検診車 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	461,535
	什器備品	医療用器械備品	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	246,716,178
		その他器械備品	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	209,379,355

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	土地	308.04㎡ 附属北品川クリニック 財団事務局 東京都品川区北品川1丁目66番3	公益目的保有財産 97% 管理運営に供する財産 3%	5,335,000 165,000
		1,546.82㎡ 附属第三北品川病院 東京都品川区北品川3丁目194番1 他 3筆	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	291,920,242
		858.77㎡ 附属品川リハビリテーション病院 東京都品川区北品川1丁目37番1 他 3筆	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	35,075,705
		163.07㎡ 研究所 東京都品川区北品川3丁目194番29	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	22,000,000
	建設仮勘定	品川リハビリテーションパーク備品 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	12,363,840
	ソフトウェア	医療電子カルテ一式 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	109,738,720
	敷金	看護師・医師寮 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	31,988,964
	出資金	さわやか信用金庫 他	管理運営に供する財産	510,100
	長期未収金	医業未収金	公益目的事業実施に伴う健診・治療事業等の長期債権	18,596,108
長期前払費用	前払損害保険料	公益目的事業実施に伴う長期債権	4,915,633	
貸倒引当金	長期未収金に対するもの	公益目的事業実施に伴う長期債権の貸し倒れに備えたもの	△ 18,596,108	
固定資産合計				6,031,435,537
資産合計				7,591,622,503
(流動負債)				
	買掛金	榊原医療器械店 他	公益目的事業に供する薬品・医療材料購入等の未払分	90,101,591
	未払金	三菱UFJリース㈱ 他	公益目的事業に伴う割賦金等の未払分	352,129,363
	未払費用	社会保険料 他	公益目的事業の賞与時社会保険料等の未払分	11,966,402
	前受金	附属品川リハビリテーション病院跡地売却に伴う手付金	公益目的事業に伴う前受金	21,500,000
	預り金	源泉所得税 他	公益目的事業に従事する職員の源泉所得税 他	32,100,779
	短期借入金	きらぼし銀行本店	公益目的事業に供する借入分	300,000,000
	1年内返済長期借入金	商工中金大森支店 他	公益目的事業に供する借入分	487,699,000
	賞与引当金	従業員に対するもの	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の賞与の引当金である	65,600,000
流動負債合計				1,361,097,135
(固定負債)				
	長期未払金	三菱UFJリース㈱ 他	公益目的事業に伴う割賦金の未払分	275,221,119
	長期借入金	商工中金大森支店 他	公益目的事業に供する借入分	5,063,374,000
	退職給付引当金	従業員に対するもの	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の退職給付金の引当金である	304,858,000
	資産除去債務	品川リハビリテーションパークに対する資産除去債務	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	181,150,584
固定負債合計				5,824,603,703
負債合計				7,185,700,838
正味財産				405,921,665

監査報告

公益財団法人 河野臨牀医学研究所
代表理事 横山 孝 殿

平成30年5月14日

監事 櫻井 康晴 ㊟

監事 鈴木 義一 ㊟

私たち監事は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。